

地域資源を活用したゼロカーボンへの取組

資料 4

【株式会社寅福（上ノ国町）】

会社概要

設立	2014年	従業員	約80名
住所	檜山郡上ノ国町	代表者	代表取締役 加藤 夢人
事業内容	・野菜（トマト・アスパラガス・ブドウ）の生産・販売 ・売上高 約550,000千円(令和4年3月期)		
	太陽光（自然光）や温泉熱の再生エネルギーを利用する新世代の植物工場を、国事業の活用により整備。高リコピントマト等を上ノ国町で栽培。		
	【トマト】 3.6ha 1,000t/年		
	【アスパラ】 1.0ha 15t/年		
	【ブドウ】 約13ha		
	【主な取引先】 カゴメ、イオン北海道、他		



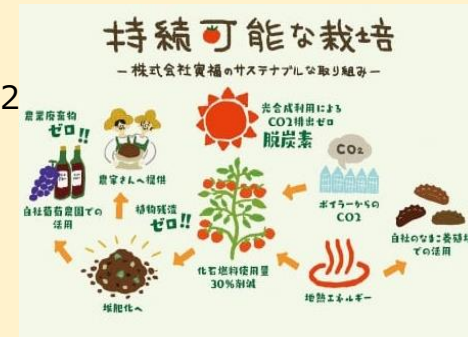
コロナ等の影響

- 設備投資・新規取引先の開拓により、コロナ禍においても増収
- 外国人実習生の入国難により、代替人材の確保が必要であった

新たな取組

● ゼロカーボンへの取組

- ・ 温泉熱を利用し、化石燃料約30%を削減
- ・ LPGボイラー利用により、石油・石炭に比べCO2の排出量を低減
- ・ ボイラー排出のCO2をトマトの光合成に使用
- ・ 通常は廃棄するトマトの茎を関連会社栽培のワイン用ブドウへの堆肥として使用



今後の展開

【脱炭素の取組・コスト削減による経営効率化】

- 再生可能エネルギーである木質バイオマス発電由来のエネルギーの利用により、ランニングコストを削減
- トマト栽培で得た収益で植樹を実施し、CO2吸収量増加の取組を推進
- 冬季の日照時間の短さをカバーするため、LEDライトを活用

